

2020年9月15日～14日

自民党総裁・菅会見詳報・改憲意欲・反応・海外、野党

【菅新総裁会見】(1) 政権運営「派閥の弊害は全くない」

産経新聞 2020.9.14 20:14

自民党総裁選を制した菅義偉官房長官は14日、党本部で新総裁の就任会見に臨んだ。会見の全文は以下の通り。

「改めまして、先ほど自民党総裁に就任をいたしました菅義偉あります。どうぞよろしくお願い申し上げます。私は高校まで秋田で育った農家の長男坊であります。地縁血縁のない私が政治の世界に飛び込んで、まさにゼロからのスタートでありましたけども、歴史と伝統のある自由民主党、その総裁に就任をさせていただける、そうしたことは、まさに民主国家日本の一つの象徴でもあるのかなというふうに思います」

「私自身、横浜の市会議員を2期8年経験をしています。まさに現場に耳を傾けながら、そして何がおかしいのか、そうしたことを一つ一つ見極めて仕事を積み重ねてきました。自由民主党総裁に就任した今、まさにそうしたおかしな部分があれば、徹底して見直しをし、この日本の国を前に進めていきたいと思っております」

「まあ、そういう中で、やはり役所の縦割り、さらに既得権益、そしてこの前例主義、こうしたものを打倒して規制改革をしっかりと進めていきたい。このように思っています。そして、国民のために働く内閣というものを作っていききたい。その思いで、自由民主党総裁として取り組んでいきたいというふうに思っております」

「私自身は内閣官房長官として7年8カ月、安倍晋三首相のもとで日本経済の再生、そして外交安全保障の再構築、さらには全世代型社会保障制度の実現など、まさに重要課題に取り組んできました。そしてこの新型コロナウイルス問題、安倍首相が陣頭指揮を執っていたのでありますけれども、病気のために道半ばで、安倍首相が退かれることになりました。そのときに、私自身、まさに悩みました」

「それは新型コロナウイルスの感染が拡大される中で政治空白は作っちゃならない。そして、国民の皆さん一人一人が、安心をして安定した生活を取り戻す、そのためには、この危機を乗り越えていくためには、安倍首相の中で取りまとめてきたコロナ対策とか、そうしたものを実行に移さなければならない。私自身、熟慮に熟慮を重ねて出馬に踏み切ったわけでありまして、そういう中で、今日、総裁選によって就任をすることができました。私自身の政治に対する基本的な姿勢は、このような姿勢でありますので、ぜひ皆さんにもご理解をいただく中で、日本の国を前に進めていきたい。よろしく願い申し上げます」

――総裁選に圧勝した勝因は何か。今後の政権運営で、支持を受けた派閥の意向に左右されないか。選挙戦では、「森友・加計学園」や首相主催の「桜を見る会」問題などの追加的対応に否定的だった。今回の総裁選のあり方は党員や国民に理解を得られたか

「まず、今回のこの総裁選で、今日両院議員総会で発表されましたように、圧倒的多数の支持のもとに就任をさせていただいたというふうに思っています。そして私を支持をいただいた大きな理由として、やはり私自身が地方出身で、地方の現場をよく知っている。ふるさと納税を総務相のときに現に作ったことや、そうした地方の発展のために、インバウンドで、地方の特産品を

全部免税品にしたとか、あるいは農業も技術に力を入れ、政権交代をして4500億円から9000億円になって、農林水産品も海外に出始めたとか、そうしたことがかなり浸透し始めてきているということがあります」

「それと私、市会議員を2期8年横浜で経験しました。地方議員の人たちが今回一生懸命に推してくださったというふうにも思っています。そういうことがあって、私自身にこの票が集まってきたのかな、というふうに思います。それと、やはり先ほど冒頭申し上げましたように、まさに政治空白は作っちゃならない。コロナ対策をちゃんとやってほしい。そして、経済もしっかり再生してほしい。まさにこの両立というものを多くの皆さんが今、望み始めてきたのではないかなというふうに思っています。そうしたことが相まって、私の大きな勝利につながったのではないかなというふうに思います。いずれにしろ、こうしたことをしっかりとこれからやり遂げていきたいというふうに思っています」

「また、派閥でありますけれども、私は派閥に入ってません。で、私自身、この総裁選へ出馬する決心をしたのが、一番遅かったと思います。先ほど申し上げましたけど、首相が病気のために退かれる。そうしたときに、このコロナ対策、そして、私は（観光支援策）『Go Toキャンペーン』なんかも主導してましたので、経済対策、そうしたことを実行に移す人間。私まさに悩みに悩んだんですけど、やはりこれは私がやらなきゃならないと、そういう判断をしました。そうした極めて困難な状況にはやはり、党内の国会議員の皆さんが官房長官として7年8カ月仕事をしてきてますんで、菅がやはり一番適任じゃないかなという、こういうふうになってきたんじゃないでしょうか」

「私は、ですから、派閥の人からもいろんな意味で、左右されて、私、冒頭申し上げましたけど、まさにこの縦割り、あるいは既得権益、そしてあしき前例主義を、こうしたものを打破っていくのが私の仕事でありますから、そう思っていますので、そうした派閥の皆さんの弊害ってということは、私は全くない。ただ、政策を説明をさせていただいて、大きな数を今日いただきましたんで、安定して自分の目指す政治を行っていきける、そういう環境は整ってきたのではないかなというふうに思います」

「また、森友、加計、桜ですか？ について、安倍政権においては、さまざまな指摘を受けております。そういう中で、客観的におかしいと思ったことについては、正していかなければならないというふうに思いますし、国民の皆さんに、何事も丁寧に説明をすることも大事だというふうに思います。その上で、成果を出して、国民の理解をいただく。そうした対応をしっかり行っていききたいというふうに思います」

【菅新総裁会見】(2) 衆院解散「せつかく就任したので仕事したい」

産経新聞 2020.9.14 21:49

――党役員・閣僚人事には全体としてどのような方針で臨むか。支持を受けた派閥に配慮する「派閥均衡型」をとるか。石破茂元幹事長や岸田文雄政調会長の起用も考えるか。二階俊博幹事長や麻生太郎副総理兼財務相は続投を求めるか。官房長官人事で重視することは。森山裕国対委員長はどう処遇するか

「まず、基本的な人事方針ですけども、それについては、総理

総裁がですね、しっかりした方向性を示して各閣僚と一体となって、仕事に行っていきたいと思っています。ですから、私が目指すのは、先ほど申し上げましたが、規制改革、ここは徹底してやりたいと思っていますんで、改革意欲のある人、改革に理解を示してくれる人、そうした人を中心に、人事というのは進めていきたいというふうに思います」

「派閥均衡型、石破さん、岸田さんを起用するかどうかということですが、これについては、総裁選が終わった時点で全て終了した。自民党の旗の下にみんな結集して一致団結をして、この国を前に進めていこう。こういう私を今日ごあいさつさせていただきました。そういう意味合いにおいて、適材適所、さっき言いましたけど、改革意識のある人、そうした人たちがいろんな派閥に散らばってますんで、そうした観点から、そこは登用していきたい。こういう意向をもっています」

「二階幹事長、麻生副総理続投ということですが、内閣組織の要、そしてまた党の要であります。極めて政権運営で重要なお二人だというふうに私は思います。続投をするかどうかというのは、まだ決めてません」

「それと、官房長官であります。官房長官というのは私、7年8カ月やるにつれて、いろんな要素がありますけれども、それと首相との組み合わせもそうだと思います。そうしたことを全体的に考えて総合的な力がある人がやはり、一番落ち着くんじゃないかなというふうに思います」

「森山国対委員長でありますけど、本当に素晴らしい国対委員長というふうに思いますし、政治経験も豊かですから森山委員長の能力というのは私は大変高く評価しております。人事をどうするかということはまだ決めてません」

「また、安倍政権を継承する方針から、居抜き内閣や小幅改造ということですが、これは首相が変わるわけですから、思い切って私の政策に方向にあう人という視点、これ仕事をしていかないと国民の皆さんに申し訳ないですから。改革意欲があって、仕事できる人をしっかり結集して国民のために働く内閣。こうしたものを私は作ってきたいというふうに思ってます」

「民間の登用ですが、まだ決めてません。今日総裁に就任したばかりであり、明日、党の主な人事があるわけですから、とにかく総裁選出馬からこの日まで全く時間がない中で、毎日毎日懸命に取り組んできました。ようやく今日で落ち着きましたんで、ゆっくり考える暇は実はないんですが、私自身の基本方針、改革意欲があって仕事ができる人、そうした人を中心にこれから進めていきたいというふうに思います」

「一どのような条件が整えば、衆院解散に踏み切るか。これまで「コロナ対策最優先」と発言してきたが、何を以てコロナ感染の「収束」と判断するのか。衆院選で省庁改革を争点として問うか」

「衆院の解散がどんな条件かということですが、私は官房長官のときから常にコロナ問題を収束してほしいというのが国民の皆さんの大きな声である。また、経済を再生させてほしい。これも皆さんの大きな声がある。そうしたことを申し上げてきました。やはり、今はまさにコロナがまだ感染者が毎日出ている状況でありますから、ここを徹底して収束に持っていく」

「そして経済も、私（観光支援策）『Go To キャンペー

ン』を主導してまいりました。地方の経済を考えたときにキャンペーンはやるべきだという判断でした。いろいろ皆さんからご意見をいただきましたけれども、結果的には、780万人の方が利用してコロナの陽性の方は確か7人ぐらいだったというふうに思います。これは地方から大変評価をいただいています。やはりこのことによって、地方の旅館やホテル、また食品の納入業者だとかお土産屋さんとか、そうした地方経済にはものすごく役に立ってきているというふうに思ってます。そういう中で、その条件ということでもありますけれども、そこは、やはり専門家委員の先生から私はGo To キャンペーンするときそうだったんですけど、そうした専門家の先生の方を参考にしながら、判断をさせていただいています。その特別の条件というよりも先生方の見方、もう完全に下火になってきたと。そういうことでなければ、そこはなかなか難しいのではないかなというふうに思っています」

「それと、せっかく総裁に就任したわけですから、仕事したいなというふうに思ってますんで、収束も徹底して、行っていききたいと思いますし、そうした中で解散の時期というのは、いずれにしろ1年しかないわけですから、なかなか悩ましい問題だろうというふうに思います。官房長官のときは首相がやるっていうのはやる、やらなきゃやらないっていう乱暴な発言しましたがけれども、今日は、今申し上げましたように、やはりコロナが収束と同時に、経済はやはり立て直す。こうしたことが大事だというふうに思います。それと、収束したらすぐやるのかということ、そんなことでもないと思います。全体を見ながら判断したいというふうに思います」

【菅新総裁会見】(3完) 省庁再編「目標を決めたら進んでいきたい」

産経新聞 2020. 9. 14 22:34

「それとデジタル庁やこの厚労省再編の省庁改革ということですが、今回のコロナ禍の中であって、浮き彫りになったのは、やはりこの日本のデジタル関係というのが、機能しなかったということが一つの大きな課題であります。実は私、マイナンバーカード、去年から対応してきてたんです。これだけのお金をかけて、なかなか、(普及率が)12%でしたから、これを普及させようと思って、まずやったのが、厚生労働省に健康保険証として使えるような、こうしたことを厚労省としてました。かなり強い抵抗があったんですけど、これは何とか協力してもらえようにいたしました。ですから、確かラインでした？ だと、これ失礼しました。もうそんなに時間がかからないで保険証は使えるようになりました。今は免許証も検討になってますから、少しずつ省庁の壁を越えながら、最終的にはマイナンバーカードがあれば、役所にわざわざ行かなくても24時間365日できるような、そうした方向にしたいというふうに思います」

「私がなぜデジタル庁を作るといったかといえば、やはりどうしても各省庁が持っているんです。それを法律改正をしなればできませんから、思い切って、その象徴としてデータ庁を作ると。それで法改正も早速やっていきたい。法改正に向けて早速準備をしていきたい、こう思っています。そういう中で、デジタル庁というものを作り上げて、一つの象徴になると思います」

「私自身、このコロナ禍の中であって、(令和2年度)第2次補正で光ファイバーに500億円予算つけてます。これは私、総務省が当初300億円の要求だったんですけども、こういう機会だから一挙に、日本全国に光ファイバーを敷設しようと思ひまして、離島まで含めると500億円できるということで、要求より200億円多くつけてますから。そういう意味で、意気込みというの皆さんにご理解をいただけるのかなというふうに思っています」

「選挙で省庁再編というのはどうでしょう。考えてもないんですけども。ただ、抵抗するというんですかね。今は、省庁の皆さんも、変えていかなければならないと私はかなりの人たちが思い始めてきたんじゃないでしょうか。私が官房長官やってたから、ああ、官房長官をやっているからということじゃなくてですね。省庁そのものもやはり改革に前向きにしないと立ちゆかなくなるという、そうした考え方の方が非常に大きくなってきているのかというふうに思っています。いずれにしろ、目標を決めたら、それに向かって進んでいきたい。こういうふうに思っています」

――北方領土交渉について。ロシアに4島返還を求めていくか。

「北方領土については、私今申し上げましたように、四島の帰属を明確にした上で交渉していく。それと、安倍晋三首相に相談ということですけど、やはり、ロシアがプーチン大統領でありますから、首相とプーチン大統領の間は極めて信頼感があります。もっと言いますと、森喜朗元首相とプーチン氏ともやはりものすごい信頼感があるんですよ。そういう中で、安倍外交についても、森元首相から、いろんな助言をいただいて進めてきているということも事実でありますので、やはり外交というのは総合力でありますから、ありとあらゆるものを駆使する中で進めていくだろうというふうに思います」

「それと、プーチン氏は柔道が大好きで、日本の山下泰裕先生と一緒に来れば、交渉がしやすくなる、そういうことを平気で言われるほど、柔道にはですね、親近感を持つてるようで。プーチン氏が訪日したときも全て山下選手に同行いただいたということも事実ですから、やはり同じ人間ですから、やはり自分のあう人ということはものすごい大事なんだろうと思います」

――憲法改正に具体的にどう取り組むか

「自民党は、憲法改正を是として立党された政党であることも事実です。そして、もう70年以上たつわけにありますから、現実とそぐわないことがたくさんあります。そういう中で、自民党は(改憲)4項目を決定をし、4項目を中心に、国会の中でそれぞれの政党の立場を明確にして、まず憲法審査会を動かしていくことが大事だというふうに思います。そこで議論して、国民の雰囲気を高めていくということも大事だというふうに思います。いずれにしろ、私自身総裁として、そうした憲法改正、4項目中心に、自民党はもう決定をしてますので、そうしたことに挑戦をしていきたい。こういうふうに思います」

＝おわり

菅氏、派閥支持の弊害否定 改憲は自民4項目を議論

2020/9/15 01:21 (JST)9/15 01:37 (JST)updated 共同通信社

自民党新総裁に選出された菅義偉官房長官は14日の記者会見で、5派閥からの圧倒的支持を受けたことが政権運営に与える影

響を否定した。「派閥の弊害は全くない。政策を説明し大きな(票)数をいただいた」と強調。憲法改正に関しては、党がまとめた自衛隊明記を含む4項目を衆参両院の憲法審査会で議論し、国民の機運醸成につなげるのが重要だと認識を表明した。改憲に向けて「総裁として挑戦していきたい」とも述べた。



記者会見する自民党の菅新総裁＝14日午後6時26分、東京・永田町の党本部

政府のデジタル化を一元的に進める「デジタル庁」の新設を改めて訴え「法改正に向けて早速準備をしていきたい」と明言した。

菅新総裁記者会見「改革意欲ある人、思い切って登用」

日経新聞 2020/9/14 18:13

自民党の新総裁に決まった菅義偉官房長官は14日、党本部で記者会見した。新たな党役員と新内閣の人事について「私が目指すのは規制改革だ。改革意欲のある人、改革に理解を示してくれる人を中心に人事を進めたい」と語った。

「人事をどうするかはまったく決めていない」と強調した。「首相が変わるわけなので、思い切って私の政策、方向に合う人を登用する。仕事をしないと国民に申し訳ない」と説明した。菅氏は「役所の縦割り、既得権益、前例主義をなくして規制改革を進める」と重ねて力説した。「国民のために働く内閣をつくる思いで取り組んでいく」と訴えた。

「今回のコロナ禍で浮き彫りになったのはデジタル関係が機能しなかったことだ」と述べ「思い切って象徴としてデジタル庁をつくる。法改正も早速やっていきたい」と話した。

支持を受けた派閥や総裁選を戦った岸田文雄政調会長、石破茂元幹事長に配慮するかを問われ「適材適所だ。改革意欲のある人はいろんな派閥にちらばっている。そうした観点から登用していきたい」と表明した。

派閥については「縦割り、既得権益、あしき前例主義を打ち破るのが仕事。派閥の皆さんの弊害ということは全くない」と述べた。

「安定して自分の目指す政治ができる環境が整ってきたのではないか」とも語った。

安倍政権を支えた二階俊博幹事長と麻生太郎副総理・財務相については「内閣、そして党の要だ。極めて政権運営で重要な2人だと思う」と指摘した。一方で「続投するかはまだ決めていない」と述べるにとどめた。

後任の官房長官に関して「いろんな要素がある。首相との組み合わせもそうだ。全体的に考えて総合的な力がある人が一番落ち着くのではないか」との見解を示した。

森山裕国会対策委員長については「すばらしい国対委員長だ。政治経験もある。能力を高く評価している」と話した。

衆院解散・総選挙をめぐる「新型コロナウイルスの収束と同時に経済を立て直すことが大事だ」と述べた。

「専門家の考え方を参考にしながら判断する。『下火になってきた』としないと難しいのではないか」とも語った。同時に「収束してすぐにやるかというところということでもない。全体を見ながら判断したい」とも付け加えた。

「せっかく総裁になったので仕事をしたいと思う」とも吐露し

た。「1年しかないわけではなかなか悩ましい」とも言及した。「官房長官の時は首相がやるといえばやる、やらないといえばやらないという乱暴な発言をした」とも振り返った。

菅氏は大差で総裁選を制した勝因について「新型コロナ対策をやってほしい。経済もしっかり再生してほしい。この両立を多くの皆さんが望み始めたのではないかと語った。

新型コロナ対策に関しては「政治空白をつくってはならない。国民一人ひとりが安心した生活を取り戻すために危機を乗り越える」と理解を求めた。「安倍晋三首相のもとで取りまとめたコロナ対策を実行に移さなければならない」と言明した。

自身が手掛けた農産品輸出の促進やふるさと納税のほか、横浜市議を務めた経歴に触れ「このような（地方の）票が集まった」とも分析した。

菅氏は憲法改正について「自民党は改憲を党是として立党した。総裁として挑戦していきたい」と明言した。憲法は「現実とそぐわない部分はたくさんある」とも指摘した。

自民党がまとめた改憲4項目を中心に「国会の中でそれぞれの政党の立場を明確にし、まず憲法審査会を動かすことが大事だ」と力説した。「議論して国民の雰囲気を高めていくことが大事だ」とも話した。

自らの政治姿勢について「現場に耳を傾けながら、何がおかしいのか一つ一つ見極めて仕事を積み重ねてきた」と述べた。「おかしな部分があれば徹底的に見直し、日本を前に進めていきたい」と話した。

菅氏は「森友学園、加計学園、桜を見る会については安倍政権において様々な指摘を受けた」と述べたうえで「客観的におかしかったことについては正していかなければならない」と語った。「国民になにごとも丁寧に説明することが大事だ」とも話した。

「日米同盟を基軸に各国と安定的な関係を」菅官房長官

NHK2020年9月14日12時54分



菅官房長官は首脳外交について、各国首脳と個人的な信頼関係を築いてきた安倍総理大臣の実績に並ぶことは容易ではないという認識を示したうえで、日米同盟を基軸に、幅広く安定的な関係を各国と築いていくことは極めて大事だという認識を示しました。

菅官房長官は午前の記者会見で、首脳外交について「一般論として申し上げれば、首脳間の個人的信頼関係は、2国間関係を一層緊密なものにする。また、多数国間の協議の場などで、総理大臣みずからが交渉し発信することは、わが国の立場への理解と支持を強くする。首脳外交は極めて重要だ」と述べました。

そして、これまで各国首脳と個人的な信頼関係を築いてきた、安倍総理大臣の実績に並ぶことは容易ではないという認識を示したうえで「国際情勢全体の状況を見据えて日米同盟を基軸として、幅広く安定的な関係を各国と築いていくことは極めて大事だ」と述べました。

一方、アメリカのトランプ政権の仲介で、イスラエルとバーレーンが国交正常化で合意したことについて「イスラエルとUAE＝

アラブ首長国連邦の国交正常化合意や、今回の合意によって、中東地域の緊張緩和と安定化に向けた動きが進むと期待する。トランプ大統領をはじめとするアメリカの仲介努力は評価したい」と述べました。

【詳報】菅総裁「官房長官の時代は乱暴な発言したが…」

朝日新聞デジタル2020年9月14日19時15分

安倍晋三首相の後継を選ぶ自民党総裁選。14日午後の両院議員総会で、新総裁が選出されました。国会議員票と地方票の開票状況や、候補者ら政治家の発言を速報します。

9月13日までの動きはこちら

寸評=鶴岡正寛記者

聞きたかった政策論争、選出の正統性に疑問符

菅義偉氏は総裁選で圧勝したのに、選出の正統性に疑問符が残った。菅氏をいち早く支持した二階俊博幹事長らの主導による「簡易型」総裁選の方式は、「通常型」に比べ、有権者に近い党員の票の「数」を3分の1に圧縮。選挙戦の「時間」も圧縮し、近年で特に短い1週間のみとした。

地方の党員から不満の声が上がったのも当然だ。特に時間の圧縮は政治空白を避けるとの理由だったが、安倍晋三首相は辞任表明会見で「次の総裁が決まるまで、私の体調は絶対に大丈夫だ。政策論争ができる時間は（執行部が）とるだろう」と述べていた。

コロナ時代の社会保障や財政などの政策論争をもっと聞きたかったが、菅氏の消費増税をめぐる釈明に注目が集まっただけで、時間切れで終わった。コロナ禍とはいえ、自民党は国民各層の幅広い声を吸い上げる包括政党ではなかったのか。

本当に国民のために政治空白を作らないのであれば、首相選出後に臨時国会を開き直し、新政権の政策や政治姿勢について説明を尽くすべきだ。特に安倍政権時代の疑惑である「森友・加計学園」「桜を見る会」問題については、菅氏自身が選出後の記者会見で問われ、「国民の皆さんに何事も丁寧に説明することも大事だ」と語った。

くしくも野党も、大きな塊の新党が明日生まれる。衆院選に向けて、有権者の判断材料となる論戦を早速戦わせてほしい。

18:20

衆院解散の条件、菅氏「なかなか悩ましい」

総裁に選出された菅義偉氏が自民党本部で記者会見をした。衆院解散の条件について問われ、「なかなか悩ましい問題だろうなと思う。官房長官の時は『総理大臣がやるって言えばやる。やらなければやらない』という乱暴な発言をしましたけれども」と苦笑いしながら語った。

菅氏はまた、新型コロナウイルス対策に触れ、「（解散の）特別の条件というよりも、（専門家の）先生の見方が『もう完全に下火になってきた』ということであれば、なかなか難しいのではないかと。それと、せっかく総理大臣、総裁に就任したわけだから、仕事をしたいなと思っている」とも語った。



記者会見で笑顔を見せる自民党の菅義偉新総裁=2020年9月14日午後6時16分、東京・永田町、高橋雄大撮影17:50

小池都知事は「意見の相違ない」

自民党新総裁に総務相などを務めた菅義偉官房長官が選出されたことを受け、東京都の小池百合子知事は14日、「国と連携する上でコロナ対策、オリンピックパラリンピック、これらすでに官房長官の時からずっと担当している。引き続きこれらの国益にも資することであるので国と都と連携しながら成功を目指していきたい」と述べた。都庁で記者団に語った。

一方で、「不仲」で知られる菅…

残り：9340文字／全文：10508文字

自民党新総裁に菅氏 「安倍首相の取り組み継承」

東京新聞 2020年9月14日 22時02分

安倍晋三首相（自民党総裁）の後任を決める党総裁選は14日の両院議員総会で投票され、新総裁に菅義偉官房長官を選出した。安倍政権の路線を引き継ぐか見直すかが事実上、最大の争点だった三つどもえの争いで、党は「継承」を選んだ。菅氏は16日召集の臨時国会で第99代首相に指名され、同日中に内閣を発足させる。（生島章弘）

◆「自助・共助・公助」

菅氏は両院議員総会で「安倍首相の取り組みを継承し、進めていかないといけない。私にはその使命がある」と訴えた。「目指す社会像は『自助・共助・公助、そして絆』。国民から信頼される政府をつくりたい」とも述べた。

その後の記者会見では、首相の関係者が優遇されるなど「政権の私物化」の疑いを持たれた森友・加計学園問題や桜を見る会を巡り「客観的におかしいと思ったことはただしていけないといけない。国民に丁寧に説明することも大事だ」と指摘した。

◆二階幹事長 続投へ

首相がこだわった改憲については「憲法は（制定後）70年以上たち、現実にそぐわないこともたくさんあった。党は（改憲）4項目を決定しているので挑戦していきたい」と語った。自身が重視する政策としては「役所の縦割り、既得権益、先例主義を打倒し、規制改革をしっかりと進めていきたい」と強調した。

総裁選では主要5派閥の支持を取り付けたが、派閥に政策を左右される懸念について「派閥の弊害は全くない」と打ち消した。

菅氏は15日に幹事長や政調会長ら党の主要役員を決め、新体制をスタートさせる。総裁選で自身を支持した二階俊博幹事長は続投させる方針を固めた。記者会見では、党幹部や閣僚には改革意欲の高い人材を充てる意向を表明した。

菅氏は国会議員票では全体の7割を超える288票を獲得。都道府県連代表に3票ずつ割り当てられた地方票も過半数を大きく上回る89票と、石破茂元幹事長、岸田文雄政調会長の両候補を圧倒した。任期は、安倍氏の残りの期間の来年9月まで。

異論なき安倍政治の継承に違和感 政治部長・高山晶一

東京新聞 2020年9月14日 19時24分



自民党の両院議員総会で安倍首相（左）に花束を

手渡す菅新総裁

自民党総裁選は、長期政権で数多くのひずみが指摘された安倍晋三首相の政治を見直す機会だった。しかし、選ばれたのは、安倍政治を「継承し、前に進める」と訴えた菅義偉官房長官。自民党がこの選択をした意味は重い。

総裁選で印象的だったのは、菅氏が安倍首相を称賛し感謝する場面が度々あったこと。さらに、「7年8カ月の間、重要政策を決定するとき、私はすべて関与してきた」と、自分が安倍政治の当事者だったことを力説した点だ。

その一方で菅氏は、森友問題や加計問題は解決済みとの立場を崩さないなど、安倍政治の反省点や、改善すべき点は口にしなかった。本当に安倍政治に反省点はなかったのだろうか。

安倍政権は、世論に耳を傾けず、違憲の疑いが強い安全保障政策などを推進。異論を唱える人たちを敵として扱った結果、社会に分断が生まれた。大企業優先の経済政策で格差も拡大した。権力は抑制的に使うべきだという為政者の鉄則を、大きく踏み外していた。

石破茂元幹事長が「納得と共感」、岸田文雄政調会長が「分断から協調へ」を掲げたのは、安倍政治には欠陥があったという意識が自民党内にもあった証拠だ。にもかかわらず、圧勝したのは菅氏。安倍政治を異論なく継承することを、自民党として選択したことを意味する。

合流後の立憲民主党などの野党は、安倍政治からの転換を強く打ち出している。次期衆院選は、全国民が参加する次の選択の場となる。（政治部長・高山晶一）

改憲に「挑戦したい」 衆院解散は「コロナが下火に…」 菅新総裁の会見詳報

東京新聞 2020年9月14日 21時26分

自民党の菅義偉・新総裁が14日夕に記者会見を行った。菅氏は衆院解散の時期について「新型コロナウイルスの専門家の見方が『完全に下火になってきた』ということであれば、なかなか（収束したとの判断は）難しいのではないかと述べた。改憲については「総裁として挑戦していきたい」と意欲を見せた。要旨は次の通り。

★新政権についてのアンケートにご協力ください

◆安定した生活を

【冒頭発言】

先ほど自民党総裁に就任した。私は高校まで秋田で育った農家の長男坊だ。地縁、血縁のない私が政治の世界に飛び込み、ゼロからのスタートだったが、歴史と伝統のある自民党の総裁に就任する。そうしたことは民主国家、日本の一つの象徴であると思っている。横浜市議会議員を2期8年経験している。現場に耳を傾けながら、何がおかしいのか一つ一つ見極めて仕事を積み重ねてきた。自民党総裁に就任した今、おかしい部分があれば徹底して見直し、この日本を前に進めていきたい。

役所の縦割り、既得権益、先例主義。こうしたものを打倒した規制改革をしっかりと進めていきたい。そして国民のために働く内閣というものをつくってきたい。

私は官房長官として7年8カ月、安倍晋三首相のもとで日本経済の再生、そして外交安全保障の再構築、さらには全世代型社会

保障制度の実現など重要課題に取り組んできた。

そして、新型コロナウイルスの問題で安倍首相が陣頭指揮を執っていたが、病気のため道半ばで退くことになった。そのとき私自身、悩んだ。新型コロナ感染が拡大する中、政治空白はつくってはならない。そして国民一人一人が安心して安定した生活を取り戻す。この危機を乗り越えていくためには、安倍首相のもとで取りまとめてきたコロナ対策を実行に移さなければならない。熟慮に熟慮を重ねて出馬に踏み切ったわけだが、今日、総裁選挙で就任することができた。皆さんにご理解をいただく中で、日本を前に進めていきたい。

【質疑応答】

記者(幹事社・日本経済新聞) 圧倒的な票差での勝利だったが、勝因をどう考えるか。派閥主導の密室政治という批判もあったが、今後の政権運営で派閥の意向に政策が左右されることはないか。(総裁選の) 討論では森友・加計問題、桜を見る会などの安倍政権の「負の遺産」に関して追加的な対応を否定してきた。

◆派閥の弊害「私はない」

菅氏 圧倒的多数の支持のもとに就任させていただいたと思っっている。私を支持していただいた大きな理由として、私自身が地方出身で地方の現場をよく知っている。ふるさと納税を総務相のときにつくったことや、地方の発展のために地方の特産品を免税品にした。農業に力を入れ、(旧民主党から) 政権交代して、農林水産品も海外に出始めた。市議を2期8年、横浜で経験した。地方議員が一生懸命応援してくれたと思っっている。

政治空白はつくってはならない。コロナ対策をちゃんとやってほしい。そして経済もしっかり再生してほしい。この両立というものを多くの皆さんが望み始めてきたのではないかと思っっている。そうしたことが相まって私の大きな勝利につながったのではないか。こうしたことをしっかりやり遂げたい。

派閥についてだが、私は派閥に入っていない。私自身、総裁選に出馬する決心をしたのが一番遅かったと思っ。コロナ対策、「Go Toキャンペーン」を主導していた。経済対策を実行に移す人間だった。悩みに悩んだが、これは私がやらなきゃならないと判断した。

この極めて困難な状況に、国会議員の皆さんに「官房長官として7年8カ月仕事をしてきているので、菅が一番適任じゃないのか」という声があがってきたのではないか。縦割り、既得権益、あしき前例主義、こうしたものを打破っていくのが私の仕事だと思っっている。派閥の弊害ということは私は全くない。政策を説明し、大きな数をいただいたので安定して自分の目指す政治を行ってける環境は整ってきたのではないか。

森友・加計問題、桜を見る会だが、安倍政権においてはさまざまな指摘を受けている。客観的におかしいと思っしたことについては、正していかなければならないと思っ。国民の皆さんに何事も丁寧に説明をすることも大事だと思っ。

◆官房長官は「総合的な力がある人」

記者(幹事社・TBS) 党役員・閣僚人事の方針は、後任の官房長官は何を重視するか。内閣を大幅に改造したり、民間人を登用したりする考えは。

菅氏 規制改革を徹底してやりたいと思っっているので、改革意欲のある人や改革に理解を示してくれる人を中心に人事を進め

たい。

改革意欲のある人はいろんな派閥に散らばっているの、そうした観点から登用していきたい。二階俊博幹事長、麻生太郎副総理兼財務相は党と内閣の要だが、続投するかどうかは決めていない。官房長官は首相との組み合わせ(が重要)だ。総合的な力がある人が一番落ち着くのではないか。

森山裕国対委員長的能力も高く評価している。安倍政権を継承する方針から、居抜き内閣や小幅改造という(見方があるという)ことだが、首相が代わるわけだから、思い切って私の政策、方向に合う人を登用して仕事をしていかないと、国民に申し訳ない。民間人の登用はまだ決めていない。

◆衆院解散「全体を見て判断」

記者(幹事社・毎日新聞) どのような条件が整えば衆院解散に踏み切るのか。何をもって新型コロナウイルスの収束を判断し、収束と判断した場合は即座に解散するか。省庁改革を争点として信を問う考えはあるか。

菅氏 新型コロナの専門家の見方が「完全に下火になってきた」ということでなければ、なかなか難しいのではないか。せつかく首相、自民党総裁に就任するのだから、仕事をしたいと思っっている。(衆院議員の任期満了まで) 1年しかないの、衆院解散の時期は悩ましい。新型コロナが収束したらすぐ解散するということでもない。全体を見ながら判断したい。

コロナ禍の中で浮き彫りになったのは、日本のデジタル関係が機能しなかったということだ。(改革の) 象徴として思い切ってデジタル庁を作る。法改正を早速やっていきたい。本年度の第2次補正(予算)で、光ファイバー(整備事業)に500億円の予算をつけた。総務省が当初、300億円を要求したが、それより200億円多く(の予算を)つけた。意気込みを理解いただけるのではないか。

選挙で省庁再編(を争点にする)というのは考えてもいないが、省庁の中にも改革に前向きにならないと立ちゆかなくなるという考えが大きくなっていると思っ。

◆憲法「現実にそぐわないことがある」

記者(北海道新聞) 北方領土問題で、ロシア側に4島返還を求めていく考えはあるか。先日、安倍首相にも相談しながら外交を進めると言ったが、今後どのように北方領土返還を実現するのか。

菅氏 北方領土については、4島の帰属を明確にした上で交渉していく。安倍首相とロシアのプーチン大統領は信頼感があるし、森喜朗元首相とプーチン氏も信頼感がある。安倍外交も森氏から助言を受けて進めてきている。外交は総合力であり、あらゆるものを駆使する中で進めていく。

記者(産経新聞) 憲法改正に具体的にどう取り組んでいくのか。意欲や必要性については。

菅氏 自民党は憲法改正を党として、立党された政党だ。(憲法施行から) 70年以上がたち、現実とそぐわないことがたくさんある。国会(憲法審査会)の中で、それぞれの政党の立場を明確にして、審査会を動かしていくことが大事だ。そこで議論して、国民の雰囲気を高めていくことも大事だ。総裁として憲法改正に挑戦していきたい。

【記者会見の流れ】

菅氏の冒頭発言後、記者クラブの幹事3社(各社の持ち回り制)が順に代表質問した。その後、司会の谷公一衆院議員(自民党報道局長)が、挙手した記者の中から指名。本紙記者は指名されなかった。幹事社を含め5人が質問し、30分で終了した。

党大会に代わる両院議員総会 新総裁に菅義偉内閣官房長官を選出

自民党ホームページ 2020年9月14日



わが党は9月14日、都内で党大会に代わる両院議員総会を開き、安倍晋三総裁の後任に菅義偉内閣官房長官を選出しました。今回の総裁選は党則第6条第2項に基づき、党大会に代わる両院議員総会で選出する方式が取られ、全ての国会議員(394人)と都道府県連の代表各3人(141人)の投票によって行われました。

午後2時すぎ、野田毅党本部総裁選挙管理委員長が投票の開始を宣言。国会議員と都道府県連の代表はソーシャルディスタンスを保ちながら壇上の投票所で一票を投じました。開始から約1時間15分後、有効投票総数534票のうち、377票を獲得した菅義偉内閣官房長官の当選が野田委員長から報告されると、会場からは大きな拍手が沸き起こり、厳粛な面持ちの菅新総裁がゆっくりと立ち上がって四方に一礼しました。

新総裁の誕生を受け、挨拶に立った安倍前総裁は「皆さんと共に困難な課題に挑戦し続けることができたことは私の誇りだ」と謝意を表明。菅新総裁について「官房長官として黙々と汗を流してきた姿をずっと見てきた。令和時代に最もふさわしい総裁だ」と述べ、力強くエールを送りました。

続いて菅新総裁が祝福の拍手と歓声に包まれながら登壇しました。菅新総裁は「新型コロナウイルスの危機を乗り越えるには安倍総理が進めてきた取り組みを継承し、進めていかなければならない。自民党の旗の下に一致団結してこの国を前に進めようではないか」と力強く決意表明。その上で自身が目指す社会像として、改めて「自助、共助、公助、絆」と強調し、「役所の縦割りや悪しき前例主義などを打破して規制改革を進める」と訴えました。

自公両党 新たな政権合意に署名へ 新型コロナ対策に全力

NHK 2020年9月15日 5時04分

自民・公明両党は、15日、新たな政権合意に署名することになっています。政権合意の案には、新型コロナウイルス対策としてワクチンの確保や医療機関への支援に全力をあげるとともに、産業と雇用を守り、経済を成長軌道に回復させることなどが盛り込まれています。

自民党の菅新総裁の選出に伴い、自民・公明両党は、連立政権の維持を確認するため、15日、党首会談を行って、新たな政権合意に署名することになっています。

政権合意の案では、新型コロナウイルスによる経済や国民生活への影響が広がっているとして、国難を乗り越えるため、政策を強力に推進するとしています。

そのうえで、▽国民の命と健康を守るため、ワクチンや治療薬の確保に加え医療機関への支援に全力をあげるとともに、▽産業と雇用を守り、経済を成長軌道に回復させるとしています。また、▽デジタル化の推進をはじめ日本社会のせい弱性を克服するとしています。

さらに、▽衆参両院の憲法審査会の審議を促進し、憲法改正に向けた国民的議論を深め、合意形成に努めることなども盛り込んでいます。

辺野古新基地など「対話で解決する場を」 玉城知事が菅新総裁に注文

琉球新報 2020年9月14日 16:24



菅氏自民党の新総裁となった菅氏についてコメントする玉城デニー沖縄県知事=14日

沖縄県の玉城デニー知事は14日午後、自民党の新総裁に菅義偉官房長官が選出されたことについて、「菅新総裁は、これまで基地負担軽減担当として沖縄の基地負担軽減にしっかりと取り組んできたという自負をお持ちだと思う。これからも現実的な基地負担の軽減に努めていただくとともに、かねてからの懸念である普天間飛行場の危険性の除去と、辺野古の新基地建設問題など、われわれ沖縄県が抱える問題に真摯に向き合っていただき、対話によって解決をする、その場をつくっていただくことに積極的にご尽力いただきたい」と述べた。

玉城知事は菅氏が新総裁に選ばれたことに「まずは心からおよろこび申し上げる。総務大臣、内閣官房長官など政府の要職を歴任され、経験、見識、政策にも精通しているということで、これまでの取り組みについても大きな期待が寄せられた上での総裁への選出であろうと思う」と語った。その上で、新型コロナウイルスの影響で大きな影響を受けている国民の生活や経済、教育、医療など、さまざまな分野の課題の立て直しに「しっかり取り組んでいただきたいと期待を申し上げたい」と話した。【琉球新報電子版】

新基地建設・振興 一手に握ってきた菅新総裁 沖縄をどうする

沖縄タイムス 2020年9月15日 05:22

【東京】自民党総裁に選出された菅義偉官房長官は、2014年から沖縄基地負担軽減担当相を兼務した。名護市辺野古の新基地建設などの「沖縄案件」を一手に握ってきた。基地問題と振興策の「リンク論」にもたびたび言及。「アメとムチ」の政治姿勢をにじませる中、辺野古を巡り一層溝が深まりそうだ。21年度末に期限を迎える沖縄振興特別措置法(沖振法)の延長への対応にも注目が集まる。



記者会見する自民党の菅新総裁=14日午後6時1分、

東京・永田町の党本部

安倍政権では「できることは全て行う」という方針の下、基地負担軽減にも取り組んだ。北部訓練場の過半(約4千ヘクタール)や西普天間住宅地区の返還を実現し、「目に見える形」の負担軽減をアピールしてきた。一方、辺野古問題では県民の強い反対を押し切って埋め立て工事に着手し、「民意を無視している」との批判を浴びている。

総裁選の討論会などでは「辺野古移設は進めていくべきだ」と一貫して強調。県と対話の糸口を見いだせそうになく、辺野古問題を巡ってますます政府と県の溝が深まる懸念がある。

沖縄振興を巡っては、基地問題との「リンク」の関係をたびたび発信してきた。

21年度の沖縄関係予算を巡っては、県の要望通り3千億円台を確保する考えを示している。ただ、これは13年に、21年度まで沖縄関係予算3千億円台を確保すると安倍晋三首相が約束し、仲井真弘多元知事から辺野古の埋め立て承認を引き出した際の「約束」だ。新基地建設に反対する翁長、玉城県政下では減額が続き、18年度からは3年連続で3千億円台ぎりぎりの3010億円で推移している。

新基地建設を巡って政府と対峙(たいじ)する玉城県政に対して、どのような予算措置を講じるか、22年度以降は不透明感が漂う。

21年度末に期限が切れる沖振法の延長について菅氏はまだ態度を明らかにしていない。政権与党関係者の間では「基本、延長されるもの」との声が多いが、政府関係者は「延長決定は新総裁の政治判断だ。決めるタイミングは県知事選や総選挙など政治決戦に左右される」との見方を示す。

「拝啓 菅義偉様」それぞれの願い込め一筆

沖縄タイムス 2020年9月15日 05:31

自民党の新総裁に14日、菅義偉官房長官が選出された。米軍機墜落事故の不安や困窮する子どもたちへの草の根支援、離島の経済振興や首里城再建一。独自の課題が山積する沖縄で、新たな国のリーダーとなる菅氏への要望は数多い。沖縄からの声を政策に反映してほしいと、各分野の当事者がそれぞれの思いを託した。

「拝啓 次期内閣総理大臣 菅義偉様」



上空に米軍機 墜落の不安 増すばかり

川田正一さん(69) 名護市

2016年12月13日、名護市安部区の海岸で米海兵隊のMV22オスプレイ墜落事故が起きました。慣れ親しんだ海である日、オスプレイの残骸を目にした時は「まさかこんな近くで」と大きな衝撃を受けたことを覚えています。

事故を受け市内で行われた抗議集会は、会場いっぱい集まった人々の「許せない」という強い怒りで埋め尽くされていました。

登壇者のあいさつに、参加者は拍手を送り、声を上げながら必死に危険性を訴えました。

その一方で、抗議集会と同じ日には、オスプレイが使用するヘリパッド建設を条件とした米軍北部訓練場の部分返還式典が行われました。式典に参加した菅さんは基地負担軽減になると強調していましたが、とんでもないと思いました。オスプレイ事故後の式典の強行に違和感を覚えました。

あの事故以来、また同じことが起こるのではないかと海辺に行くときは双眼鏡を持っていくようになりました。集落上空を米軍機が飛ぶ状況は変わらず、住民は日々不安を感じています。辺野古に基地ができればその不安は増大します。

政府は「県民に寄り添う」という言葉をよく使いますが、ぜひ実際に沖縄の基地の現状、県民の暮らしを見てほしい。将来のために、辺野古の新基地建設中止を強く求めます。(安部区住民) 子どものため 安心の居場所 支援続けて 仲本かなえさん(39) 南風原町

内閣府の沖縄子どもの貧困緊急対策事業が始まった2015年、「南風原子ども元気room」を開きました。放課後も夜も週末も、子どもが安心できる居場所をつくりたかったのです。

経済的に厳しい、周りに頼れる人がいない。子どもたちの事情はさまざまですが、家庭だけでは十分に生活することが難しい場合が多いです。引きこもりや不登校の子もいます。お父さんやお母さんの他に、地域にも、信頼できる大人がいると分かってほしいと願って活動しています。

休みはありません。お盆もお正月も開けます。新型コロナで休校になった時もずっと続けていました。子どもたちの過ごす場所を守りたかったからです。

事業は来年度で一区切りと聞いています。その後がどうなるのかわからず心配です。年間運営にかかる3千万円は100%補助で成り立っています。なくなったら活動できません。軌道に乗ってきた事業をぜひ続けたいです。支援の先にどのような子どもたちがいるか、ぜひ会いに来てください。(南風原子ども元気room代表)

二階幹事長続投へ 政調・下村氏、総務・佐藤氏、選対・山口氏 一自民役員人事

時事通信 2020年09月15日 00時17分



二階俊博 自民党幹事長



自民党の菅義偉新総裁は14日、二階俊博幹事長(81)を続投させる方針を固めた。政調会長に細田派の下村博文選対委員長(66)、総務会長に麻生派の佐藤勉・衆院憲法審査会長(68)、選対委員長に竹下派の山口泰明・党組織運動本部長(71)をそ

れぞれ起用する。党幹部が明らかにした。

石原派の森山裕国対委員長（75）の再任も固まった。総裁選で菅氏を支持した細田、麻生、竹下、二階、石原の5派閥のバランスに配慮した。幹事長代行には無派閥の野田聖子元総務相（60）を充てる。15日に党役員人事を決定し、新内閣は16日に発足する。

菅氏は総裁選出後の記者会見で、新政権での課題に「規制改革」を挙げ、「改革意欲のある人、改革に理解を示す人を中心に人事を進める」と表明。「(人材は) いろんな派閥に散らばっている」とも指摘し、党内から幅広く起用する方針を示した。

官房長官には、竹下派の加藤勝信厚生労働相（64）や細田派の萩生田光一文部科学相（57）、菅氏と同じ無派閥の梶山弘志経済産業相（64）らの名前が挙がっている。自身の後任となる官房長官について菅氏は、「全体的に考えて総合的な力がある人が一番落ち着く」と指摘した。

総裁選勝利に貢献した二階氏と麻生太郎副総理兼財務相（79）については「極めて政権運営で重要な2人だ」と強調。麻生氏も続投するとの見方が強まっている。引き続き国会運営の司令塔となる森山氏に関しては「政治経験も豊かで、能力を大変高く評価している」と語った。

菅氏が「安倍政権の継承」を掲げた経緯から、閣僚の多くが再任するとの観測も出ているが、菅氏は「首相が変わるわけだから思い切って私の政策に合う人を登用する」との意向を示した。

人事では、総裁選を戦った岸田文雄政調会長（63）、石破茂元幹事長（63）の処遇も焦点。これに関し菅氏は「総裁選が終わった時点で（戦いは）全て終了した」と述べたが、それ以上の言及は避けた。

二階幹事長続投、自民党四役の顔ぶれ固まる…幹事長代行には野田聖子氏起用へ

読売新聞 2020/09/15 03:00

自民党の菅義偉新総裁は14日、党役員・閣僚人事に着手し、党四役の顔ぶれが固まった。二階俊博幹事長（81）が続投し、政調会長に下村博文選挙対策委員長（66）、総務会長に佐藤勉・元総務相（68）、選挙対策委員長に山口泰明組織運動本部長（71）をそれぞれ起用する。森山裕国会対策委員長（75）は留任させる。

佐藤、山口両氏は、菅氏と衆院当選同期で、それぞれ所属する麻生派と竹下派で菅氏支持の中核を担った。下村氏は細田派、森山氏は石原派に所属。党四役に国対委員長を加えた主要5ポストは、菅氏を支持した5派閥に割り振られる。

自民党は15日午後、党本部で臨時総務会を開き、党四役など主な党役員人事を正式決定する。幹事長代行には野田聖子・元総務相（60）を充て、二階氏側近の林幹雄幹事長代理（73）は続投する方向だ。

閣僚では、公明党が赤羽一嘉国土交通相（62）の再任を求める方針で、菅氏も受け入れる見通しだ。菅氏は記者会見で、二階氏と麻生副総理兼財務相（79）について「極めて政権運営で重要な2人だ」と述べた。麻生氏に加え、茂木敏充外相（64）、橋本聖子五輪相（55）は再任されるとの見方が強まっている。

また、菅氏は官僚トップとなる事務の杉田和博官房副長官（7

9）を再任させる意向だ。

自民新総裁に菅氏 16日首相指名—安倍政権継承、解散が焦点

時事通信 2020年09月14日 21時22分



自民党の両院議員総会で新総裁に選出され、拍手に応える菅義偉官房長官＝14日午後、東京都港区



自民党総裁選は14日、投票が行われ、菅義偉官房長官（71）が第26代総裁に選出された。党内7派閥のうち5派や無派閥グループの支援を受け、岸田文雄政調会長（63）と石破茂元幹事長（63）を大差で破った。菅氏は16日に召集される臨時国会で第99代首相に指名され、同日中に安倍内閣を引き継ぐ新内閣を発足させる。

東京都内のホテルで開かれた党両院議員総会で、所属国会議員（394票）と47都道府県連代表（各3票、計141票＝地方票）が投票した。菅氏は377票を獲得し、得票率は7割に達した。岸田氏は89票、石破氏は68票だった。

新総裁に選出後、菅氏は両院総会で「安倍晋三首相の取り組みを継承し、進めていかなければならない。私にはその使命がある」と訴え、「国民のために働く内閣をつくる」と強調した。

菅氏はこの後、党本部で記者会見し、新政権の基本方針について「縦割り、既得権益、あしき前例主義を打ち破っていく」と表明。党4役人事を15日に決定し、16日の組閣に向け閣僚人事の調整も急ぐ。「菅総裁」の流れを主導した二階俊博幹事長は続投させる。

総裁選は安倍首相の辞任表明を受けて実施された。総裁交代は約8年ぶり。任期は安倍氏の残りを引き継ぐため、来年9月末までとなる。菅氏は2012年12月に第2次安倍内閣が発足した当初から官房長官として安倍首相を支え、選挙戦で安倍政権の路線を継承する立場を明確にした。

衆院議員の任期満了が来年10月21日に迫る中、菅氏がいつ衆院解散・総選挙に踏み切るかが焦点となる。菅氏は会見で新型コロナウイルスの感染状況を重視する考えを示し、「コロナ問題が下火になってきたということではなければ、なかなか難しいのではないかと」指摘。「コロナ収束と、経済を立て直すことが大事

だ。全体を見ながら判断する」と述べた。

新立憲・枝野氏、本格論戦要求 早期解散をけん制—自民総裁選受け

時事通信 2020年09月14日19時47分

自民党新総裁に菅義偉官房長官が選出されたことを受け、新立憲民主党の枝野幸男代表は14日、「遠からず本格論戦の機会をつくっていただけると期待する。衆院解散は受けて立つが、まずは国会論戦を強く求めたい」と述べた。衆院議員会館で記者団に語った。

安倍晋三首相の辞任表明後、報道各社の世論調査で内閣と自民党の支持率が上昇。政府・与党幹部からは早期解散論が出ているが、15日に結党大会を開く新立憲は選挙態勢が整っていない。枝野氏は「国会論戦から逃げて解散をすることはないだろう」と述べ、菅氏をけん制した。

新国民民主党の玉木雄一郎代表は、菅氏が安倍政権の継承を掲げていることを踏まえ「長期政権の弊害を継承しないよう監視したい」とする一方、「応援できるところは応援したい」と表明。共産党の志位和夫委員長は記者会見で「菅氏の下で新自由主義の暴走がひどくなる。総選挙で菅体制を倒し、政権交代を図る」と訴えた。

安倍政権に協力的だった日本維新の会の松井一郎代表(大阪市長)は「喜怒哀楽を共有できる新総裁の誕生を心からお祝い申し上げる」と歓迎する談話を発表した。

菅新総裁選出 「国会審議を」枝野氏 「国政任せられない」志位氏

毎日新聞 2020年9月14日19時37分(最終更新 9月14日19時37分)



立憲民主党の枝野幸男代表＝衆院第1議員会館で

2020年9月4日午後2時、竹内幹撮影

菅義偉官房長官が自民党総裁に選出されたことについて、旧立憲民主、旧国民民主両党などで結成する合流新党「立憲民主党」代表に就任する枝野幸男氏は14日、「国会論戦から逃げて衆院を解散することはないと思うが、解散は受けて立つ」と対決姿勢を示した。



米、同盟重視の継続に期待 「熟練した裏方」と評価

時事通信 2020年09月14日15時40分

【ワシントン時事】自民党総裁に菅義偉官房長官が選出されたことについて、米国では、安倍晋三首相が進めた日米同盟重視の

路線継続に期待する声が出ている。

首相の右腕として重要課題を取りさばいてきた菅氏について、ワシントン・ポスト紙は「ミスターfix-it(修理屋)」という評価を紹介。「カリスマのある指導者というより、熟練した裏方としての能力に定評がある」と分析した。

日米関係に詳しいカーネギー国際平和財団のジェームズ・ショフ上級研究員は次期首相に米国が望むのは「継続性」だと語り、「日本が強い同盟を維持し、世界の課題に深く関与した協力的なパートナーであり続けることを米国は期待している」と述べた。

ショフ氏はまた、経済政策に関し「日本がデジタル変革を進め、世界的な技術競争を勝ち抜くには高度な改革の取り組みが必要になる」とし、「菅氏はその準備ができてい」という認識を示した。

農家出身に好感 日米連携強化を警戒—中国

時事通信 2020年09月14日18時27分

【北京時事】中国では、菅義偉自民党総裁が安倍晋三首相の路線を受け継ぎ、「トランプ米政権との連携を強める」と警戒感が強い。一方で、農家に生まれた「たたき上げ」の菅氏に好感を抱く人も多い。中国外務省の汪文斌副報道局長は14日の記者会見で「菅氏の総裁当選を祝賀する。共に中日関係を発展させたい」と述べた。

14日付の共産党機関紙・人民日報系の環球時報は「菅氏は日米同盟の深化を前提に中日関係の改善を続けるとみられる」と分析を伝えた。同紙は「東・南シナ海と釣魚島(沖縄県・尖閣諸島の中国名)問題では、強硬な対中政策を取り、米国の戦略に協力し自らの政権基盤を固めるだろう」という見方も示した。

ネットでは「農民の息子(の菅氏)は安倍氏の政策を継続し、日本の安定と発展の基礎をつくるだろう」と予想する書き込みが見られた。

中国、対日関係の安定重視 政治情勢の行方見極め

2020/9/14 18:46 (JST)9/14 19:02 (JST)updated 共同通信社



記者会見する中国外務省の汪文斌副報道局長＝14

日、北京(共同)

【北京共同】中国は米国との激しい対立や習近平国家主席の国賓訪日を見据え、14日の自民党総裁選で勝利を収め、首相選出が確実となった菅義偉官房長官と対日関係を引き続き安定させたい考えだ。衆院議員の任期が来年10月に迫っており、しばらくは日本の政治情勢の行方も見極める構えだ。

中国外務省の汪文斌副報道局長は14日の記者会見で、菅氏に祝意を述べ「新型コロナウイルス対策と経済発展での協力を深め、引き続き中日関係の改善、発展を共に推し進めたい」と強調した。

菅氏が総裁選で「中国をはじめとする近隣国と安定的な関係を構築する」と述べた点を、中国は評価しているとみられる。

関係改善へ出方注視 安倍路線「継承」を警戒—韓国

時事通信 2020年09月14日 18時04分

【ソウル時事】韓国は「戦後最悪」とされる日韓関係の改善の契機となるか、菅義偉自民党総裁の出方を注視する構えだ。ただ、菅氏は元徴用工問題をめぐって文在寅政権と鋭く対立した安倍政権を中枢で支えてきただけに、警戒する見方も出ている。

国民大学の李元徳教授は韓国紙・東亜日報に対し、菅氏は「安倍晋三首相より実用主義的だ」と指摘。韓国政府のアプローチ次第では、日本側の出方も変化し得るとの見解を示した。

ただ、菅氏が討論会で安倍政権の外交政策を引き継ぐ姿勢を打ち出していることから、韓国政府関係者は「韓日関係が大きく変化することはなさそうだ」と語る。文政権は新内閣の布陣などを見極めた上で関係改善の糸口を模索するとみられる。

仏メディア、菅新総裁を「甘くない」人物などと論評

JNN2020年9月15日 0時43分

自民党の新総裁に選ばれた菅義偉官房長官について、フランスメディアは、「甘くない」人物だなどと論評しています。

経済紙「レゼコー」は菅新総裁の人物について、「パンケーキが好きだからと言っても、決して『甘い人』というわけではない。強い性格を何度も見せてきた」と批評しています。

また、左派系の新聞・リベラシオンも、「記者会見でのジャーナリストの質問に対する冷淡な対応と、テーブルをとんとんと叩く癖は厳しい性格を表している」としつつ、「これまで、安倍総理の領分を侵さないようにしながら『裏の戦略家』と見られてきた」と分析しています。

菅新総裁、英国メディアは「いちご農家の息子」

JNN2020年9月14日 20時48分

自民党の新総裁に菅官房長官が選出されたことについて、多くのイギリスのメディアは、「いちご農家の息子」とその生い立ちに触れながら報じています。

このうち、イギリスの公共放送BBCは、菅氏について「いちご農家に生まれトップになった」と紹介するとともに、新しい元号を発表し「令和おじさん」のニックネームで呼ばれていると伝えました。その上で、「安倍政権を側近として支えた菅氏は前政権の政策を継続するだろう」と評しています。

テレグラフ紙は、菅氏について、「安倍総理や総裁選の他の2人の候補者のように、伝統的に世襲が重んじられる日本の政界では珍しい存在」として報じています。

また、ガーディアン紙は、「何時間も記者会見をして、時には政治記者と衝突することもあったが、菅氏の冷静な態度からはその人物像をうかがい知ることはほとんどできなかった」と伝えています。

合流新党 福山幹事長、泉政調会長を内定 平野氏は選対、安住氏は国対

毎日新聞 2020年9月14日 12時11分(最終更新 9月14日 12時11分)

立憲民主、国民民主両党などが結成する合流新党の代表に就任する枝野幸男・立憲代表(56)は14日午前、国会内で記者団に

新党の幹事長に福山哲郎・立憲幹事長(58)、政調会長に泉健太・国民政調会長(46)を起用すると明らかにした。代表代行兼選対委員長に平野博文・国民幹事長(71)、国対委員長に安住淳・立憲国対委員長(58)をそれぞれあてる。15日の結党大会で正式決定する。



合流新党の新代表となり、記者の質問に答え

る立憲民主党の枝野幸男代表＝東京都内のホテルで2020年9月10日午後3時13分、竹内幹撮影

枝野氏は10日に投開票された合流新党代表選で泉氏との一騎打ちを制し、代表就任が決定。党名も投票の結果、枝野氏が提案した「立憲民主党」になることが決まった。こうした状況を踏まえ、枝野氏は党運営の要となる幹事長と国会運営の中核を担う国対委員長については、枝野氏を支えてきた福山、安住両氏を起用し、立憲主導の党運営をアピールした。一方で国民に配慮し、平野、泉両氏を要職に起用し、党内融和を図る姿勢を示した。

枝野氏は10日の代表選後、「人事について奇をてらうことはしない。オーソドックスにやる」と述べていた。【宮原健太】